

## 2021年6月度 J.フロントリテイリング 百貨店事業 売上速報(日本基準)

※当社は2017年度から国際会計基準（IFRS）を任意適用しております。なお百貨店事業の店舗別売上高につきましては、引き続き従来の日本基準で開示します。

※数値は速報値のため、毎月中旬に発表している確定報とは誤差が生じることがあります。

※百貨店事業以外の事業も含めた連結ベースによる売上収益報告につきましては、IFRSの確定値により毎月中旬に開示します。

### ■ 店舗別売上高対前年増減率（%）

店舗	6月度	3-6月度累計	店舗	6月度	3-6月度累計
大丸 心齋橋店	38.4	82.5	松坂屋 名古屋店	▲0.8	55.6
大丸 梅田店	▲3.6	30.8	松坂屋 上野店	5.4	56.9
大丸 東京店	11.0	60.0	松坂屋 静岡店	▲3.3	40.5
大丸 京都店	6.8	42.8	松坂屋 高槻店	▲18.6	3.2
大丸 神戸店	▲0.9	55.4	松坂屋 豊田店	▲4.8	28.7
大丸 須磨店	▲10.1	13.1	店 計	3.0	51.5
大丸 芦屋店	18.3	66.3	法人・本社等	▲18.1	2.2
大丸 札幌店	▲11.5	55.9	<b>大丸松坂屋百貨店合計</b>	2.1	48.0
大丸 下関店	▲7.7	31.0	博多大丸	▲6.5	63.2
			高知大丸	▲7.7	42.4
			<b>百貨店事業合計</b>	1.3	48.9

- ※注） 1. 2021年度より、これまで各店の実績に含めていた法人外商売上や本社に帰属する収益を法人・本社等として開示します。対前年増減率は、前年実績を組み替えて算出しています。
2. 2021年度より、これまで不動産事業に含めていた不動産賃貸収入について、GINZA SIXは法人・本社等へ、百貨店周辺店舗等は各店へ含めています。対前年増減率は、前年実績を組み替えて算出しています。

### ■ 概 況

- 6月度の売上高は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の延長により、東京都、大阪府、兵庫県、京都府、愛知県、北海道、福岡県の計13店舗で、20日までの土日の営業を食料品、化粧品など一部売場に限定したことによるマイナス影響（前年は土日も全館営業）を受けたものの、ラグジュアリーブランドや美術宝飾品などが好調であったことから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年2.1%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同1.3%増となった。
- 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高（速報値）は対前年144%増（客数同▲23%減、客単価同218%増）であった。

\*注） 免税売上高の本年実績には、大丸心齋橋店の定期賃貸借テナントの免税売上は含まれておりません。

【参考】 6月度の大丸松坂屋百貨店 既存店計（法人・本社等の本年・過去実績を除く）は対前年3.0%増、対前々年▲27.3%減、うち国内売上高（免税売上高の本年・過去実績を除く）は対前年2.5%増、対前々年▲20.1%減。

お問い合わせ先	J.フロントリテイリング株式会社 (IR推進部)	03-6895-0178
	(グループ広報推進部)	03-6895-0816